

# 「自然の恵み 海の幸」恵海だより 第3号

海洋学院ブログ：<http://marine-ac.seesaa.net>

平成 18年 6月 21日 発行

〒039-0841

発行：青森県立海洋学院

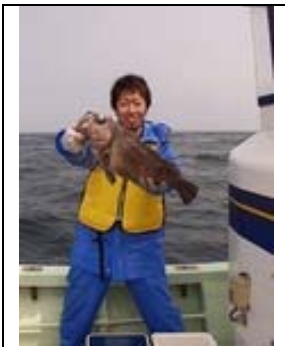
八戸市大字鮫町字下盲久保 25-131 電話 0178-33-0049 FAX 0178-33-2695

## 《本格的な沿岸漁業実習》

6月に入り、本格的な沿岸実習が行われています。実習船「みどり」による沖合実習（立縄、釣り）、和船による八戸港内を中心とした実習（アナゴ胴、かご網）を2班に分かれて、基礎・基本の繰り返しが行われています。



燕島をバックに実習



大きいだろう！

漁獲も例年に比べ、ウスメバル（テンカラ）、マダラ等が多く獲れています。早速、魚をおろす実習も行われています。

日々、各自の役割の目標を持って、実習に取り組むことを指示しており、船酔い等に悩まされている学院生もおりますが、徐々に学院生の連携と手際の良さが見られてきています。



よ～し出港



みどり実習



今日も大漁



出港準備

## 《NHK取材中 につぼん夏紀行》

6月中旬から沿岸、沖合実習を通じて、学院生が海の男として一步一步成長していく過程が取材されています。「〇〇一の漁師になる」というはっきりとした目標を持った漁師の卵たちの姿がドキュメンタリーとして放映されます。



学院長の講義



裁割実習



出港風景

6月27日～7月11日の青森県水産総合研究センター所属船「東奥丸」での長期航海も同乗取材予定です。8月10日全国放映予定。乞うご期待を(^\_^)/

## 《漁師の話》

6月13日深川修一氏(八戸市南浜漁協理事、青森県漁業士会副会長)と14日(番地亨勝氏(八戸みなと漁協所属、遊漁船等営む)にゲストティーチャーとして、現役の漁師さんに「漁の今、日課、漁の工夫等」をお話しいただきました。

学院での実習の基礎・基本を学び、独自の工夫をする大切さ、そして執念を持って漁獲することについて、経験を踏まえて教えていただきました。



深川さん

番地さん

## 《八戸南高校の「海学」 ロープワーク指導》

八戸南高校2年生21名の総合学習「海学」の一環として、本学院実習棟にてOBの佐々木勝男氏の指導によるロープワークの学習が6月14日と21日にありました。

学院生は佐々木先生のアシスタントを無事勤めていました。



教えることは、学ぶことです

## 《海岸清掃活動 海洋環境保全推進週間》

6月5日に蕪島海岸周辺の漂着ゴミ調査と海岸清掃を行いました。

これは、海上保安部が主催する海洋環境保全推進週間に、近隣の幼稚園と鮫観光協会等と協力して実施したものです。



記念撮影

大型ゴミはまかせろ

## 《今後の予定等》

### ◎東奥丸(140ト)でのイカ釣り実習

6月27日～7月11日の間、15日間の実習。

本格的なイカ釣り実習の技術習得を目指す。長期航海であり、青森県水産総合研究センター所属船、金崎船長以下13名の乗組員の方にお世話になります。

### ◎潜水実技講習 7月18～20日の3日間

希望者4名(木浪、佐藤、西崎、長谷川)が、八戸水産高校の潜水プール(2日間)、海岸(1日間)の実習を受講します。結構ハードなので、頑張れ(^)/。学科講習・試験は、9月の予定です。

### ◎FRP材補修技術講習 7月24～25日の2日間

全員がMRCユニテックの講師の指導により、海洋学院において受講します。

### ◎水難救命講習 7月26日

八戸海上保安部の指導の元、水難に係わる救急救命講習を受講します。

